

# 町制40周年によせて



伊奈町長

野川和好

今もなお、無線山の雑木林や綾瀬川・原市沼川など、豊かな自然と心安らぐ田園風景に囲まれている伊奈町は、昭和45年11月1日に町制を施行し今年40周年を迎えました。当時の人口は10,100人余でしたが、首都中心部から40km圏内という地理的条件に加え、新都市交通（ニューシヤトル）の開通、区画整理による都市基盤整備などにより、住宅都市へと大きく変貌してきました。現在、人口は42,000人を超え、若い活力あるまちへと発展を続けています。これも、先人達の御労苦と多くの皆様の御尽力の賜物と深く敬意を表する次第です。

この40周年を契機に、これからも「自然と調和した、ふれあい・安心安全・住みよいまち」の実現を目指し、町民の皆様方と行政が一体となって魅力あふれる明るく住みよいまちづくりを進めてまいりたいと存じますので、皆様には、より一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

## 伊奈町の軌跡

昭和45年11月1日  
伊奈町誕生



町制施行当時の町役場



町制施行記念式典のようす

### 期日 町の出来事

昭和45年11月1日	伊奈町誕生
昭和46年9月6日	給食センター業務開始 (小学校2校・中学校1校)
昭和48年6月25日	役場新庁舎業務開始
昭和49年3月	小室・小針小学校開校100年
昭和49年4月5日	北保育所開所
昭和49年11月15日	浄水場完成
昭和50年2月5日	水道事業給水開始
昭和50年11月1日	県立がんセンターオープン
昭和53年2月25日	南部土地区画整理地内を「栄」と町名変更
昭和53年3月4日	中央保育所開所
昭和53年5月11日	県道上尾・久喜線、大宮・菫蒲線開通 (北部土地区画整理地内)
昭和53年11月10日	新幹線建設協定調印 (新交通システムの導入を条件)
昭和54年4月	南小学校開校
昭和55年3月9日	東北新幹線工事着工
昭和55年3月19日	町の人口2万人突破
昭和56年6月10日	総合センターオープン

# 写真で見るいなまちの歴史



平成5年5月13日、  
天皇、皇后両陛下が伊奈町を  
視察



平成14年5月14日のオープン  
に向け、工事の進むふれあい  
活動センター（ゆめくる）



平成18年4月1日、  
小針北小学校開校



昭和48年6月25日、  
役場新庁舎業務開始



昭和58年12月22日、  
埼玉新都市交通「ニューシャトル」大宮  
羽貫間開業



昭和55年、  
東北新幹線工事  
の進む本区地区

- 昭和57年4月1日 南保育所開所
- 昭和57年4月8日 小針中学校開校
- 昭和57年10月10日 スポーツ都市宣言
- 昭和58年12月22日 新交通システム「ニューシャトル」開業  
(大宮 羽貫間)
- 昭和59年1月26日 町民憲章制定
- 昭和59年4月1日 消防本部・消防署新庁舎完成
- 昭和59年4月10日 県立伊奈学園総合高等学校開校
- 昭和59年6月 伊奈氏屋敷跡より「障子堀」を発見
- 昭和59年9月29日 北部土地区画整理地内を「寿」と町名変更
- 昭和62年2月16日 KDD小室受信所開所
- 昭和62年7月25日 図書館開館
- 昭和63年4月 バラ園完成
- 昭和63年4月 南中学校開校
- 平成元年4月 人間国宝に田口善国民
- 平成元年4月 クリーンセンター稼働
- 平成元年11月1日 中央土地区画整理地内を「本町」と町名変更
- 平成2年4月1日 町の花に「バラ」、町の木に「モクセイ」を指定
- 平成2年8月2日 ニューシャトル大宮 内宿間が全線開通
- 平成3年4月1日 県民活動総合センターオープン
- 平成5年5月13日 天皇・皇后両陛下下行幸啓
- 平成7年11月2日 町の人口3万人突破
- 平成9年4月1日 新水道庁舎完成
- 平成14年5月14日 ふれあい活動センター「ゆめくる」オープン
- 平成15年1月20日 町内循環バス「いなまる」運行開始
- 平成15年3月4日 平和都市宣言
- 平成15年4月8日 県立伊奈学園中学校開校
- 平成15年11月1日 上尾伊奈斎場「つつじ苑」供用開始
- 平成18年4月1日 小針北小学校開校
- 平成19年3月12日 北保育所新築・移転
- 平成19年12月18日 町の人口4万人突破
- 平成21年 出生率県内第1位
- 平成22年7月17日 北部土地区画整理地内を「西小針」「学園」「内宿台」と町名変更